

平成 24 年 9 月度第 1 回わが街つくる会定例会議事録（通算 137 回）

日時：‘12-9-13（木） 19：30～21：20

場所：平野市民センター会議室

出席者：橋本、雨宮、奥村、森川、堀井、杉中、川上、倉橋、岡本、竹内、
戸所、竹吉、乾 以上 13 名

議事内容：

1. 大津市協働提案制度の第 1 次審査結果について（橋本）

わが街つくる会より応募した提案事業「連携と協働による平野学区わがまちづくり推進事業」は、審査の結果落選となった。自由テーマでは 10 件近くの応募に対し、3 件程度が 1 次審査をパスした模様。

わが街の提案事業は 100 点満点換算で 60 点評価となり、合格ラインの 70 点に及ばなかった。審査委員のわが街の提案事業に対するコメント（*）がなされているが、種々の点で提案内容が理解されていないと思われるものがあつた。ただ、平野学区民の意気込みを高く評価し、今後を期待するとのコメントもあり、今回の提案は落選とはなつたが、わが街つくる会としては、独自に提案内容に沿つた活動に取り組み実績を積み重ねて次の機会を狙うこととなつた。

（*）審査委員のコメントとそれに対する見解（議論結果）

- ①まちづくり協議会と同様なので独自性が見えにくい。
⇒大津市のまちづくり協議会は活動しておらず、意味不明。
- ②平野学区民の意気込みを買う。今後に期待。
- ③枠組みが壮大で、大津市としては時期早尚。他学区及ぼす影響大で、「なぜ平野だけ」となる。全体方針のないところで動けない。
⇒平野学区から始めようと主張しており、趣旨の理解が不足。
- ④平野を知るための活動なら、「平野を知るウォーク」で駄目なのか。少ない費用で出来る。行政との協働を進めるには法的部分や、市全体のバランスが必要。市と話し

合いの余地はあるか。

⇒「平野を知るウォーク」について一言も言及していない。活動の意図が理解されていない。

- ⑤地域から発信の「街づくり事業」であり、期待する。
- ⑥学区レベルの街づくりは既の実績があるのではないか、また既存の団体が構成員となると、関心のある個人レベルの参加が困難とならないか。

⇒各種団体の横の連携強化を狙っている。またワークショップやフォーラムの開催で個人レベルにも門戸を開いている。

⑦策定された計画が市政の中にどのように位置づけられるか慎重に考えて行くべき。

⇒まさにそれが協働提案の趣旨であり、行政の課題である。

2. ZeZe ときめき坂 Halloween2012 について (橋本)

①9月3日に実行委員会が開催され以下の3点が決定された。

・京阪電車車両にラッピング広告を貼る。(商店街提案)

図案は成安造形大に依頼。掲示期間1カ月。費用10万円。

・ZeZe ときめき坂商店街ガイドマップ(作成済み)を全戸配布。

・提灯飾り付け

作業日:10月20日(土)16:00~、於)膳所駅前、個数500個

②警備体制について

10月28日(日)の警備要員を連合会、体振、わが街、交通安全、PTA、京都銀行等から総勢23名を確保すべく調整中。

③その他(倉橋)

・平野小PTAではHalloween当日将棋大会を企画しており現在詳細を検討中。

・10月27日(土)平野小まつりがある。ここで「大声コンテスト」を企画している。カボチャの王様に本コンテストの審査員をお願いしたい。また子どもたちにキャンディの配布もお願いしたい。(⇒商店街で対応する。)またカボチャ重量当てクイズ用の一つを小学校に展示し、子ども達に応募をさせたい。(⇒1200枚の応募用紙要)

3. 花と緑の街づくりコンクールについて(竹吉)

大津市主催の本コンクールに駅前花壇で応募をしてみる。締め切り日は9月14日。

4. 駅前花壇の補助金増額について(竹吉)

今年度、花壇面積を拡大して(第二花壇の一部を加算)申請していたところ認可の連絡がきた。これにより補助額が17,000円⇒25,000円にアップすることになった。

5. 平野を知る企画について(戸所)

「平野を知る」ための企画の一環として、かわら版に平野の各自治会紹介を検討中である。更には、商店街、消防、交番・警察、PTA、市民センター等各種情報も掲載予定である。

6. 次回定例会の開催について

9月20日(木)19:30~、次回より司会者が輪番となります。

以上